

課題名:「大腸癌における悪性度と炎症細胞との関係の研究」について

○研究の意義・目的

腫瘍の進展は、腫瘍細胞とその周囲組織から作られる微小環境（炎症細胞、血管・リンパ管、繊維芽細胞、細胞外基質などの間質組織）が重要な役割を果たします。腫瘍微小環境に存在するマクロファージは腫瘍随伴マクロファージ(tumor-associated macrophage:TAM)と言われ、量的にも腫瘍進展への影響度において主体を占める細胞と考えられています。しかし、大腸癌とTAMやその他の炎症細胞(T細胞など)との関係についてまだ解明されていないことが多いのが現状です。本研究では、大腸癌の深達度等の臨床病理学的特徴と炎症細胞（マクロファージやT-cell等）との関連を調べ、大腸癌の進展様式の解明、新規治療法開発等への足掛かりとなると考えています。

○研究対象者

2009年1月～2021年12月に広島大学病院にて内視鏡的・外科的に切除を施行された大腸癌症例。

○研究の方法

本研究は、病理標本検体を用いて免疫染色を行い、免疫学的特徴でマクロファージ、T-cell等の浸潤量、分布を比較検討します。また、診療録（カルテ）の既存資料を用いて比較検討を行います。カルテから転記する内容は、臨床病理学的特徴では性別/年齢/腫瘍局在/腫瘍径/深達度/脈管侵襲/簇出、内視鏡的特徴では色調、病型、白斑の有無、WOSの有無、pit pattern、JNET分類を比較検討します。

（個人が特定できる情報は転記しません）

（研究期間 承認後～2026年3月31日）

○試料・情報の管理責任者

広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治

○個人情報の保護について

長さ内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。常法が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療に不利益が生じることは有りません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問合せください。

お問合せ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5537

広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中信治（研究責任者）

広島大学病院消化器・代謝内科 講師 岡志郎（研究担当者）

医系科学研究科 消化器・代謝内科学 大学院生 稲垣 克哲（研究対象者）